

患者の皆様へ

2020年10月26日

消化器内科

現在、消化器内科では、「全身化学療法を導入した肝細胞癌患者の臨床経過に関する後向き研究」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では肝細胞癌の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「全身化学療法を導入した肝細胞癌患者の臨床経過に関する後向き研究」

2. 研究の意義・目的

肝細胞癌の臨床経過を考慮して全身化学療法の有効性を検証します。

3. 研究の方法

2009年6月から2022年12月までに当科で全身化学療法としてソラフェニブ、レゴラフェニブ、レンバチニブ、ラムシルマブ、カボザンチニブ、アテゾリズマブとベバシズマブ併用療法を導入した肝細胞癌患者さんを対象として、診療録に記載されている患者さんの検査データ（採血結果、画像検査）などを過去に遡って照会・確認させていただきます。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院消化器内科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応を致しますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関：千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学

本件のお問合せ先：千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学

医師 加藤 直也

043(222)7171 内線5241(医局)